

第1回宝達志水町総合計画審議会

日時：平成30年12月5日（水）午後7時～

場所：生涯学習センターさくらドーム21 2階 視聴覚室

- 1 開 会
- 2 町長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長選出
- 5 諮問
- 6 議 題
 - (1) 第二次宝達志水町総合計画の策定に向けて
 - (2) 宝達志水町の現状
 - (3) 宝達志水町のこれまでに主な取り組み
 - (4) 町民アンケート結果
 - (5) 将来像（テーマ）の検討に向けて
 - (6) 今後のスケジュール
- 7 閉 会

参 考 第1次宝達志水町総合計画
宝達志水町総合計画審議会条例
宝達志水町議会の議決すべき事件を定める条例

宝達志水町総合計画審議会委員名簿

任期：平成30年12月5日～平成32年3月31日

No.	団体名等	役職名等	氏名
1	宝達志水町区長会	会長	網 宣雄
2	宝達志水町老人会連合会	会長	新田 伸吉
3	宝達志水町民生児童委員協議会	会長	中村 俊夫
4	宝達志水町教育委員会	教育長	山岸 芙美
5	宝達志水町農業委員会	会長	大山 幹雄
6	宝達志水町文化協会	事務局次長	廣正 清明
7	宝達志水町商工会	会長	市村 昭代史
8	公募委員		岡田 政信
9	宝達志水町社会福祉協議会	会長	松田 正晴
10	金沢大学	特任教授	宇野 文夫
11	経済・金融評論家		津田 栄
12	宝達志水町体育協会	副会長	寺崎 敏治
13	石川県中能登農林総合事務所	所長	前川 久義
14	北陸大学	教授	南谷 直利
15	宝達志水町PTA連合会	副会長	松浦 佐千代
16	宝達志水町PTA連合会	副会長	白川 敬司

※年齢順

< 事務局 >

企画振興課	課長	一家 剛
企画振興課	課長補佐	松原 好秀
企画振興課	主幹	南谷 賢朗
企画振興課	主事	森 広大
日本海コンサルタント	社会事業本部計画研究室 リーダー	上野 朋弥

第1回
宝達志水町総合計画審議会
席次表
会 長

網 宣雄 委員

中村 俊夫 委員

大山 幹雄 委員

市村昭代史 委員

松田 正晴 委員

津田 栄 委員

前川 久義 委員

松浦佐千代 委員

新田 伸吉 委員

山岸 芙美 委員

廣正 清明 委員

岡田 政信 委員

宇野 文夫 委員

寺崎 敏治 委員

南谷 直利 委員

白川 敬司 委員

事 務 局

日本海コンサルタント
上野 朋 弥

主 企画振興課
事 森 広 大

主 企画振興課
幹 南 谷 賢 朗

寶 達 町 長

課 企画振興課
長 一 家 剛

課 企画振興課
長 補 佐 松 原 好 秀

第二次宝達志水町総合計画

第1回審議会

目次

1. 第二次宝達志水町総合計画の策定に向けて・・・P 1
2. 宝達志水町の現状・・・・・・・・・・・・・・P 2
3. 宝達志水町のこれまでの主な取り組み・・・・・・・・P 3
4. アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・P 4
5. 将来像（テーマ）の検討に向けて・・・・・・・・P 7
6. 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・P 8

宝達志水町 企画振興課

平成30年12月5日

1. 第二次宝達志水町総合計画の策定に向けて

(1) 計画策定の背景と方針

- 平成17年3月1日、石川県羽咋郡内の志雄町と押水町の旧2町が合併し、本町が誕生しました。平成19年度には、新町制におけるまちづくりの総合的指針として「第一次宝達志水町総合計画」を策定し、「地域の個性を活かしたまちづくり、パートナーシップで進めるまちづくり、小さくても住民サービスが行き届いたまちづくり」を基本目標に据え、「水と人が奏でるハーモニーのまち」を将来像（テーマ）とした様々な施策を10年間にわたり展開してきました。
- 本町では、平成28年2月に「宝達志水町人口ビジョン」及び「宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、将来的な人口減少を見据えた、しごとづくり・ひとの流入・ひとつなぎ・まちづくりの取り組みをスタートしたところです。
- 今後10年間のまちづくりの総合的指針となる「第二次宝達志水町総合計画」は、将来的な人口減少を真摯に受け止めながらも、町民が幸せに暮らし続けられる持続可能なまちづくりに向けた大切な計画となります。これまでの10年間で進めてきた施策をより一層色濃く推進していくとともに、町民や企業、行政などまちづくりに関わるすべての人々が総力を挙げて魅力ある宝達志水町の創生に取り組むことで、次世代のまちづくりを支える強くしなやかな礎を築いていくことを目指します。

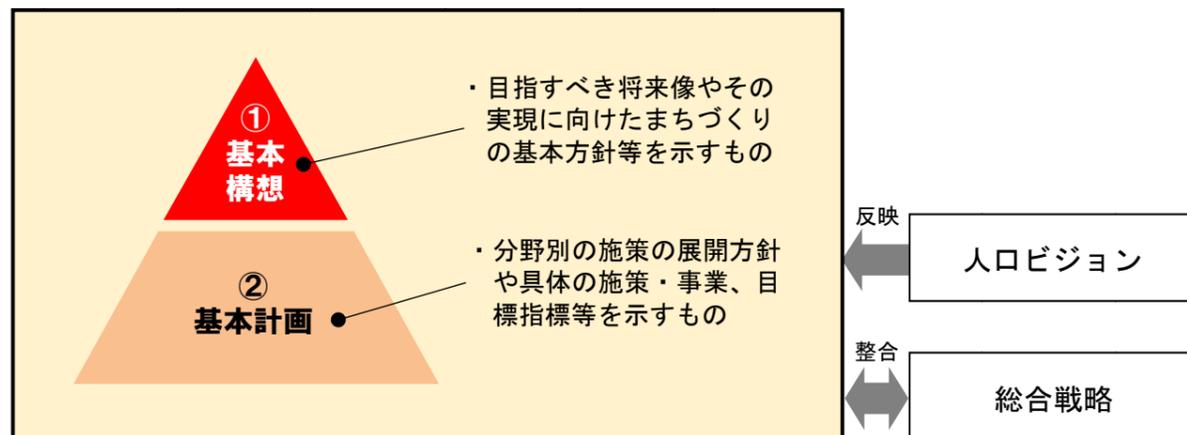
(2) 計画期間

- 総合計画の計画期間は、平成32年度（西暦2020年度）～平成41年度（西暦2029年度）までの10箇年とします。

(3) 総合計画の構成

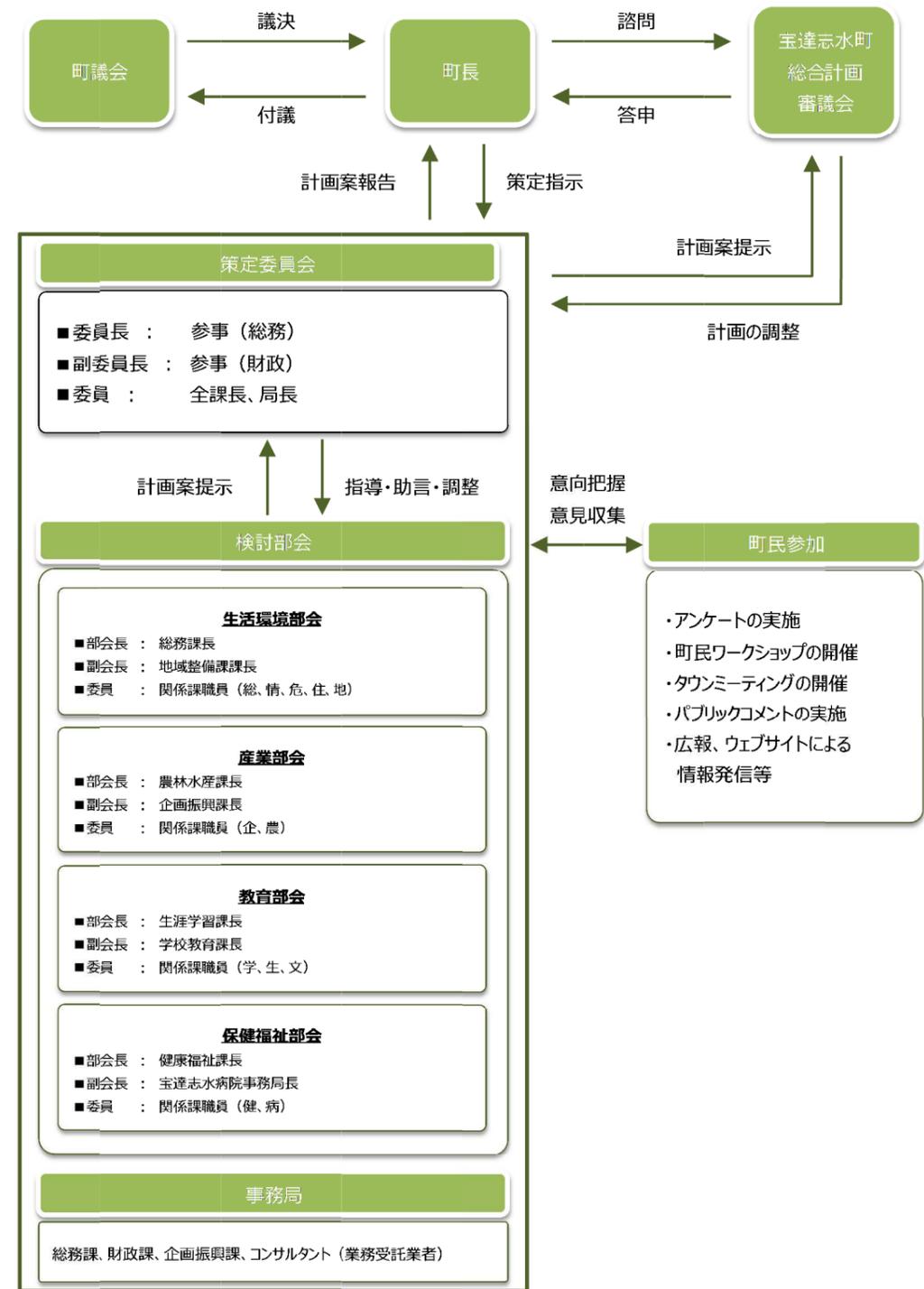
- 総合計画は、「基本構想」「基本計画」で構成します。
- 総合計画は、「宝達志水町人口ビジョン」を反映しつつ、「宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と整合を図りながら検討します。

【第二次宝達志水町総合計画の構成等】



(4) 検討体制

- 第二次宝達志水町総合計画の検討体制は、①審議会－②策定委員会－③検討部会の三部構成とします。なお、策定作業や全体調整を行う事務局は企画振興課及びコンサルタントが担います。
- 町民参画については、平成30年度に町民アンケートを実施し、来年度には町民ワークショップによる意見収集を行う予定です。また基本構想と基本計画のそれぞれの案にパブリックコメントの実施を予定しており、これらの町民意向を計画に反映していきます。

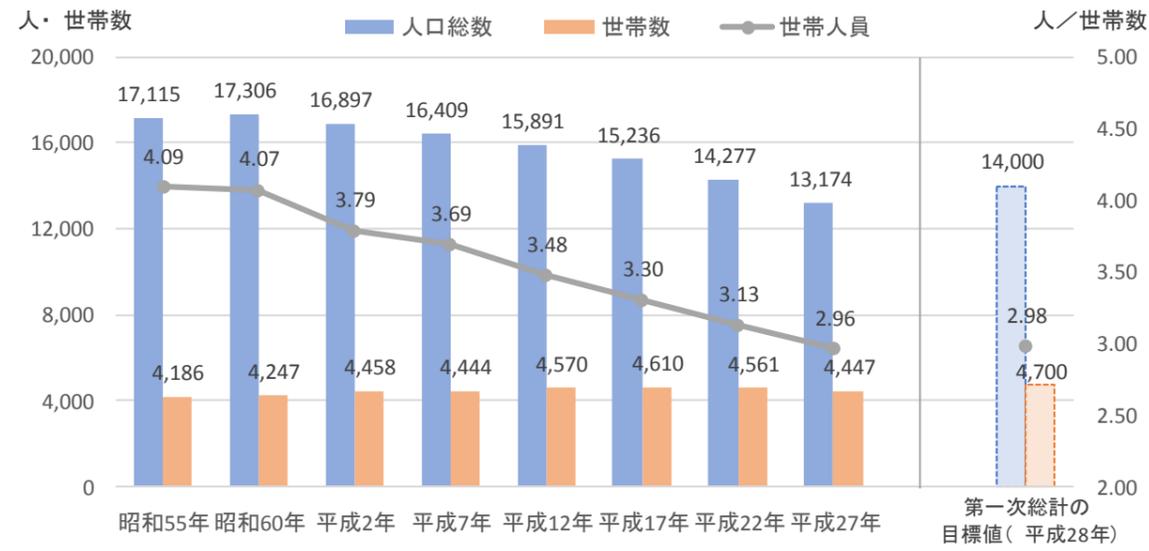


2. 宝達志水町の現状

(1) 人口の推移

○宝達志水町の人口は昭和60年を境に減少しており、現在は13,174人となっています。ここ10年では約2,000人減少しています。

○世帯数は平成27年に減少が見られますが、平成22年まで増加傾向で、世帯人員がここ10年で3.30人/世帯から2.96人/世帯に減少しています。

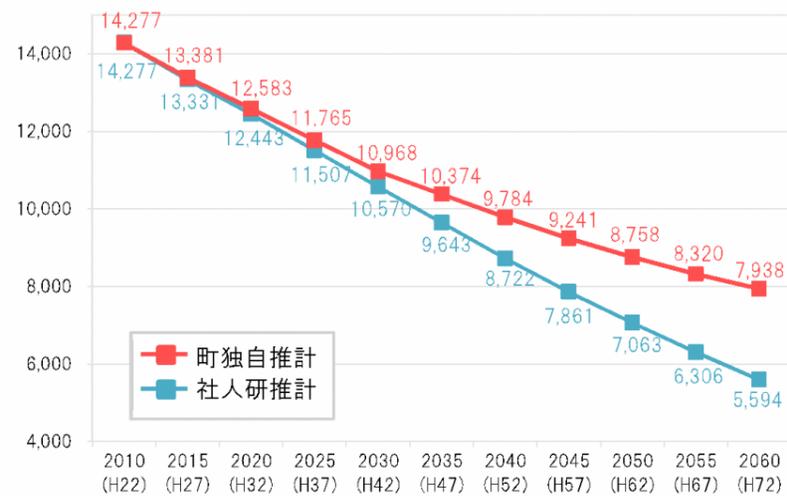


人口の推移

出典：国勢調査

(2) 将来人口の設定

○宝達志水町人口ビジョン（平成28年）では、2060年（平成72年）の目標人口を8,000人としています。



(出典)国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

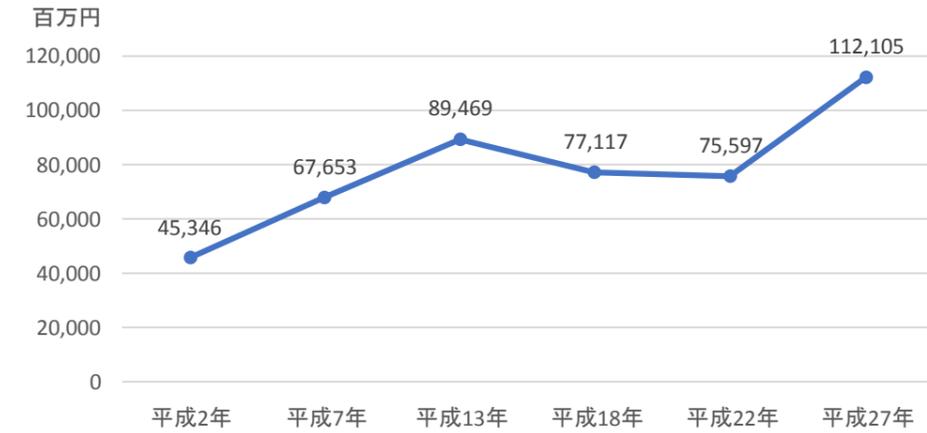
将来人口の推移

出典：宝達志水町人口ビジョン

(3) 産業の推移

【工業】

○宝達志水町の製造品出荷額等は、平成18～22年にかけて減少しましたが、増加傾向です。特にここ20年では67,653百万円から112,105百万円と約2倍に増加しています。

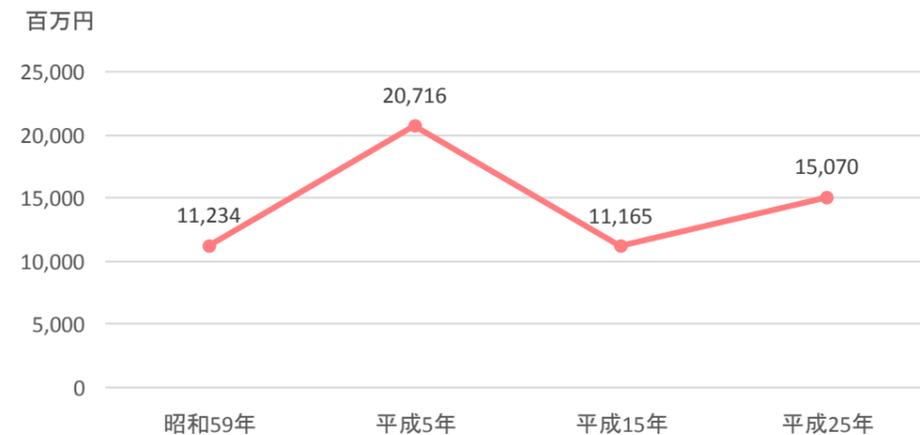


製造品出荷額等

出典：工業統計

【商業】

○宝達志水町の商業年間商品販売額（卸売業＋小売業）は、平成15年に減少していますが、平成25年にかけて増加傾向です。ここ20年では20,716百万円から15,070百万円と約7割に減少しています。



商業年間商品販売額（卸売業＋小売業）

出典：商業統計

3. 宝達志水町のこれまでの主な取り組み

方針1：総合的なまちづくりの推進

- ・広報の発行（毎月1回）、SNS（フェイスブック）による発信（H28.3～）
- ・**故郷資源の再発見運動の推進**
（オムライスの郷プロジェクト（H23～）、宝達山の魅力発信など）
- ・「宝浪漫マラソン2018」の開催（H30.9）
- ・町政懇談会の実施（H21、H23、H29）
- ・集落支援員の設置（北志雄地区）（H29～）

など

方針2：生活環境の整備

- ・曙団地、今池団地の取り壊し、**今池団地跡地における宅地分譲の実施**（H30.3～）
- ・民間賃貸住宅の建設による定住促進（H27～）
- ・住宅新築当奨励金（H23～）、**民間賃貸住宅家賃補助制度**の導入（H28～）
- ・**交通システムの再構築**（貸切バス、巡回バス、デマンドタクシーなど）
- ・二級河川吉崎川の改修、今浜海岸の人工リーフの設置
- ・防災行政無線の整備（H26.4～）
- ・消防分団の再編統合（6分団→4分団）
- ・カーブミラーや街灯の設置による防犯・交通安全対策の推進

など

方針3：保健・医療・福祉の充実

- ・生活習慣病の個別指導による予防
- ・特定健康診査や特定保健指導の充実（糖尿病等）
- ・**子育て世代包括支援センターの立ち上げ**（H32 予定）
- ・不妊治療の助成金
- ・**町立宝達志水病院の開設**（H29.5）
- ・**高齢者福祉に対する包括的支援事業**の実施
- ・障害者（児）個々への相談支援専門員の配置
- ・町内の公共施設や障害者支援施設におけるバリアフリー化
- ・北大海第一保育所の改修（H31 年度中予定）
- ・保育所の認定こども園への移行（H31.4 予定）

など

方針4：教育・文化・スポーツの充実

- ・4小学校での給食棟の整備
- ・**押水中学校と志雄中学校の統合**（H26）
- ・**埋蔵文化財センターの開館**（旧押水図書館）（H29.11）、移動図書館車の導入（H26.2）
- ・生涯学習センターの改修工事の着手（H28～）
- ・宝達志水総合体育館の大規模改修（H26.2）
- ・岡部家の母屋解体修理の実施（H19～22）
- ・海外派遣事業の実施（H26～）
- ・ジャパンテントにおける留学生の受け入れ

など

方針5：産業の振興

- ・「押水いちじく」の**ブランド化、新たな販路開拓**（H27～29）
- ・稚貝・稚魚の放流による漁業生産力の向上、漁獲高の増収
- ・**企業の誘致**（いしかわグリーンパワー、NTN 宝達志水製作所、アルビス）
- ・宝達志水町商工会の結成による一体的な商業振興（旧志雄町商工会・旧押水町商工会：H21.4）
- ・観光PR映像の製作、町ホームページの観光サイト開設
- ・**若者通勤サポート事業**（通勤費助成：H28～）、出産祝い金の支給（H28～）

など

方針6：都市基盤の整備

- ・国道159号（羽咋道路）の事業着手
- ・主要地方道の改良（宝達から山頂までの急カーブの解消など）
- ・県道の改良（宝達今浜線の改良、向瀬杉野屋線の整備など）
- ・子浦交差点の改良
- ・町道における**融雪装置の設置**（東間地内（H26）、南吉田地内（H30 予定））
- ・**下水道の整備**（浄化センターの建設、柳瀬・敷浪・出浜・荻島の面整備）
- ・放送設備機器のデジタル化対応（H22～）

など

方針7：行財政改革の積極的な推進

- ・押水庁舎の廃止、志雄庁舎への統合（H22.3）
- ・地方税における電子手続きの開始（H23.12～）
- ・**コンビニ証明書の交付**（H30.2～）
- ・窓口業務の一部民間委託（H30.7～）
- ・**民間委託の推進**（古墳の湯：H24、デマンドタクシー：H24）
- ・広域勤労青年ホーム・町民サッカー場の民間委託（押水フットボールクラブシニア：H23～）
- ・町職員定数の適正化（H22 まで退職者不補充）
- ・旧町の職員給与の見直し

など

4. アンケート結果

(1) 調査概要と回収状況

- 第二次宝達志水町総合計画の策定に向け、町民の町政への評価や今後の意向を把握するため、宝達志水町在住の4,567世帯の全戸にアンケート票を3部ずつ配布しました。(調査期間：平成30年8月29日(水)～9月14日(金))
- 宝達志水町在住の4,567世帯に配布し3割弱の世帯に回答いただき、票数では町民の約2割の方から回答をいただきました。

全世帯数に占める割合	1,190世帯÷4,567世帯=26.1%	
全町民に占める割合	2,281票÷(13,271-1,266*)人=19.0%	※0～14歳(1,266人)を除く

- 年代別の回答率では、60～70歳代の回答が多いため、若年層や壮年層の意見を抽出して、年代別に確認していきます。

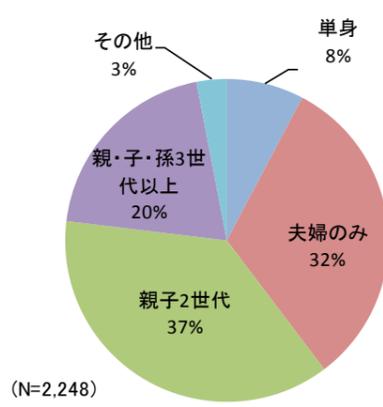
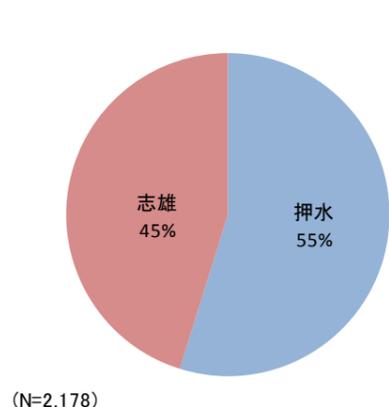
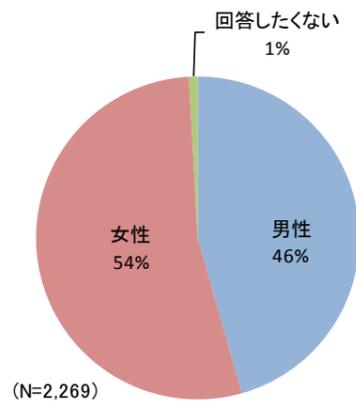
年代別の回答率

	人口	年齢回答数	回収率
15～20歳代	666	68	10.2%
20歳代	1,113	79	7.1%
30歳代	1,079	129	12.0%
40歳代	1,696	261	15.4%
50歳代	1,631	312	19.1%
60歳代	2,151	597	27.8%
70歳代	2,069	603	29.1%
80歳以上	1,596	214	13.4%

(2) アンケート結果

【①回収票の基本情報】

- 性別比は、「女性」が「男性」より若干多くなっています。
- 居住地域は、「押水」が「志雄」より若干多くなっています。
- 家族構成は、「親子2世代」が約4割で、「夫婦のみ」が約3割となっています。



【①評価項目に対する満足度と重要度】

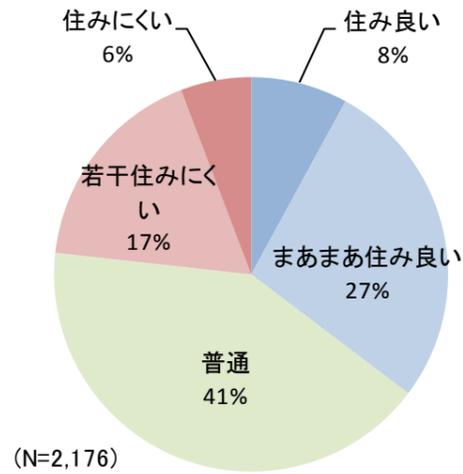
- 満足度の点数がマイナスになっている項目(不満の割合が高い項目)が多く、特に「雇用機会創出」や「公共交通」、「公園や緑地の整備」で低くなっています。また、点数がプラスとなっている項目(満足度の割合が高い項目)は、「健康づくり」や「防災・消防」、「医療・救急」があります。
- 重要度の点数が高いのは、「医療・救急」や「学校教育」、「子育て支援」があります。
- 重要度が高く満足度が低い項目(特に取り組むべき課題)として、「雇用機会創出」と「公共交通」があります。

満足度と重要度

評価項目	評価点		略称 (右図に対応)
	満足度 低い ← 高い	重要度 低い → 高い	
1 住民同士の交流や一体的な活動	0.05	1.01	住民交流
2 地域の魅力(資源)の活用	-0.28	1.05	地域資源活用
3 各種団体やボランティア活動などへの支援	-0.10	0.88	各種団体支援
4 男女共同参画への取り組み	-0.14	0.61	男女共同参画
5 住宅や宅地の供給	-0.06	0.80	住宅供給
6 巡回バスなど公共交通の利便性	-0.47	1.11	公共交通
7 自然環境の保全と活用(新エネルギーなど)	-0.23	0.95	自然の保全・活用
8 公害防止やリサイクル運動などの取り組み	0.03	1.02	公害防止
9 防災・消防体制の充実	0.09	1.34	防災・消防
10 防犯・交通安全対策の充実	0.03	1.32	防犯・交通安全
11 健康づくりへの取り組み	0.17	1.15	健康づくり
12 医療・救急体制の充実	0.07	1.42	医療・救急
13 高齢者・障がい者(児)福祉の充実	-0.02	1.32	福祉の充実
14 子育て支援の充実	-0.06	1.36	子育て支援
15 学校教育の充実	0.03	1.37	学校教育
16 青少年の健全育成	0.01	1.20	青少年育成
17 生涯学習の充実	-0.01	0.96	生涯学習
18 スポーツ施設の整備やスポーツ団体の育成	-0.06	0.87	スポーツ施設整備
19 歴史・文化遺産の継承	-0.03	0.72	歴史・文化遺産
20 他市町との文化交流への取り組み	-0.11	0.56	文化交流
21 国際交流への取り組み	-0.08	0.44	国際交流
22 農林水産業の振興	-0.11	0.98	農林水産業
23 工業の振興(既存工業の活性化)	-0.23	1.04	工業振興
24 商業の振興	-0.35	1.08	商業振興
25 観光・レクリエーションの振興	-0.32	0.88	観光振興
26 雇用機会の創出(企業誘致や起業支援など)	-0.51	1.30	雇用機会創出
27 公園や緑地の整備	-0.37	0.90	公園・緑地
28 幹線道路や生活道路など道路網の整備	-0.21	1.13	道路網整備
29 上下水道の整備	0.02	1.18	上下水道整備
30 情報通信基盤の整備	-0.11	1.06	情報通信基盤整備
平均	-0.11	1.03	
31 行政サービスに対する総合評価	-0.21	-	

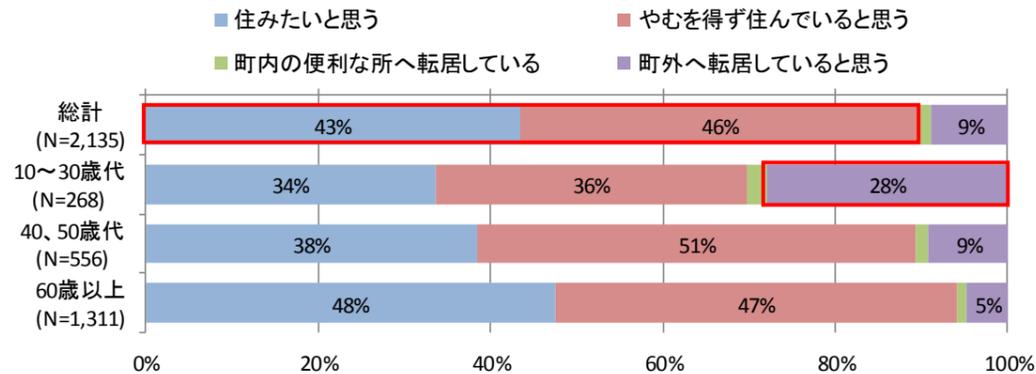
【②宝達志水町の住みやすさについて】

- 宝達志水町の住みやすさについては、「普通」が約4割で、「まあまあ住み良い」が約3割となっています。
- 「住みにくい」と「若干住みにくい」は、併せて約2割となっています。



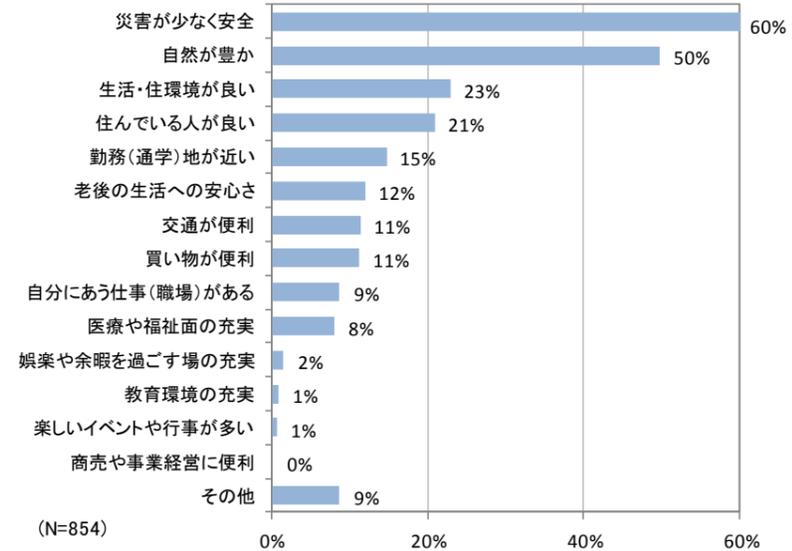
【③-1 将来も宝達志水町に住みたいかについて】

- 宝達志水町での居住の継続性については、総計では、「住みたいと思う」と「やむを得ず住んでいると思う」が併せて9割弱でとなっています。
- 年齢層別に見ると傾向が異なり、10～30代の「町外で転居していると思う」が約3割となっています。



【③-2 今後も宝達志水町に住みたい理由】

- 今後も宝達志水町に住みたい理由として、総計では、「災害が少なく安全」や「自然が豊か」が多くなっています。
- 世代別に見ると、1～2位は「災害が少なく安全」や「自然が豊か」ですが、3位は「勤務（通学）地が近い」と「生活・住環境が良い」のどちらかとなっています。



10～30 歳代

1位	自然が豊か	47%
2位	災害が少ない	35%
3位	勤務地が近い	28%

40～50 歳代

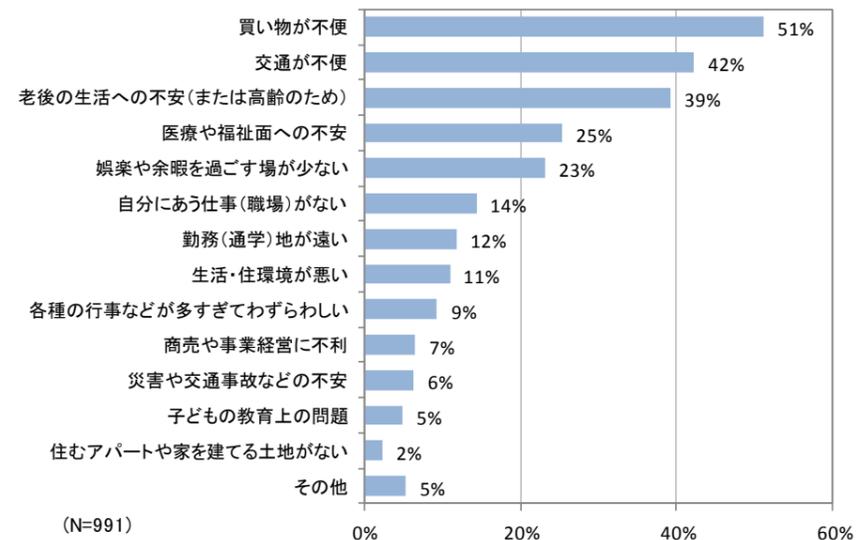
1位	自然が豊か	48%
2位	災害が少ない	47%
3位	勤務地が近い	33%

60 歳以上

1位	災害が少ない	68%
2位	自然が豊か	51%
3位	生活・住環境が良い	24%

【③-3 今後、宝達志水町に住みたくない理由】

- 今後、宝達志水町に住みたくない理由として、総計では、「買い物が不便」や「交通が不便」、「老後の生活への不安（または高齢のため）」が多くなっています。
- 世代別に見ると、1位は「買い物が不便」ですが、2～3位は世代によって異なります。



10～30 歳代

1位	買い物が不便	41%
2位	自分にあう仕事がない	36%
3位	勤務地が遠い	36%

40～50 歳代

1位	買い物が不便	48%
2位	交通が不便	39%
3位	老後の生活への不安	29%

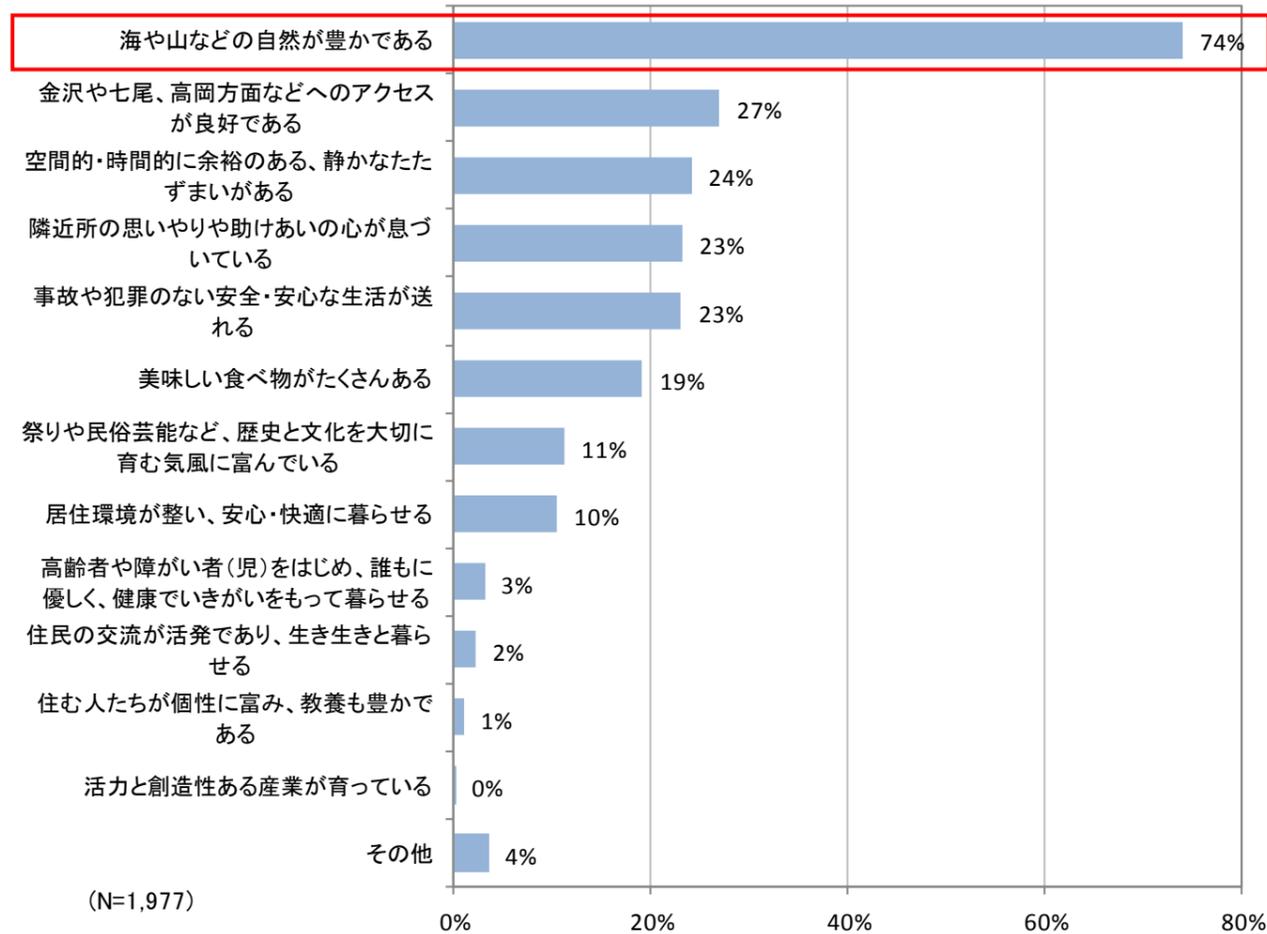
60 歳以上

1位	買い物が不便	56%
2位	老後の生活への不安	51%
3位	交通が不便	49%

【④宝達志水町の自慢できるところについて】

○宝達志水町の自慢できるところとしては、「海や山などの自然が豊かである」が突出して多くなっています。

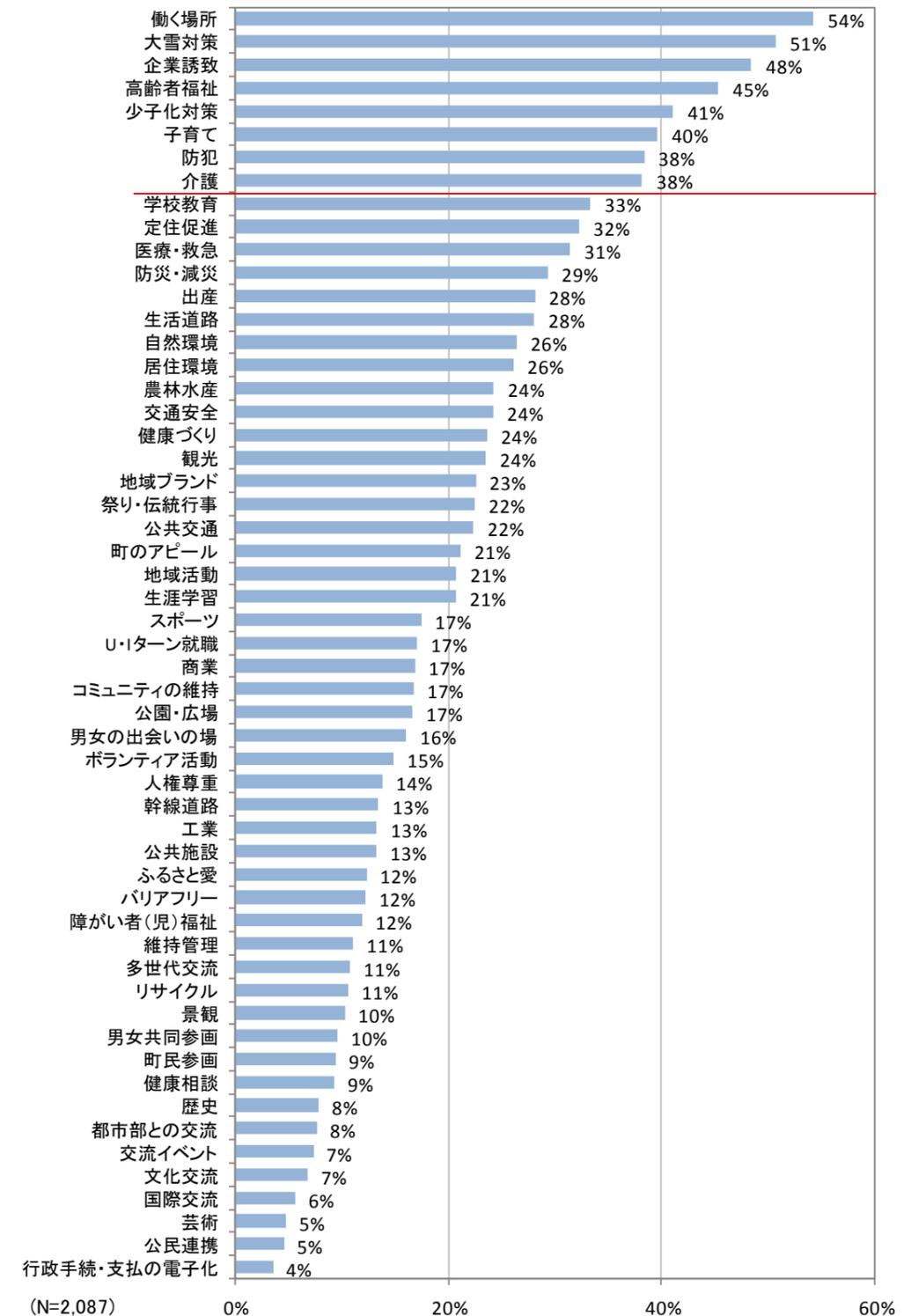
⇒『自然の豊かさ』がまちづくりのキーワードとして考えられます。



【宝達志水町の将来像にあたり、重要になるとされるキーワードについて】

○重要となるキーワードとしては、「働く場所」や「企業誘致」といった産業に関するもの、「高齢者福祉」や「介護」といった高齢社会への対応、「子育て」といった若年層への対応などが挙がっています。

⇒『ひと』づくり(生む、育てる、働く)が、まちづくりのキーワードとして考えられます。



5. 将来像（テーマ）の検討に向けて

第1次総合計画（H19.3）

【基本目標】（基本方針）

- 「地域の個性を活かしたまちづくり」
- 「パートナーシップで進めるまちづくり」
- 「小さくても行政サービスが行き届いたまちづくり」

【将来像】（テーマ）

『水と人が奏でるハーモニーのまち』

- ①人と人、人と自然のふれあいのまち
- ②みんなで支え合う共生のまち
- ③いきいきと活力に満ちたまち

【施策の大綱】（各施策の柱）

- 1 総合的なまちづくりの推進
- 2 生活環境の整備
- 3 保健・医療・福祉の充実
- 4 教育・文化・スポーツの充実
- 5 産業の振興
- 6 都市基盤の整備
- 7 行財政改革の積極的な推進

町民アンケート調査（H30.9）

【町民の意識・ニーズ（抜粋）】

- 雇用機会創出や働く場の確保が望まれています。
- 買い物や交通が不便という声が多く、公共交通の改善が望まれています。
- 若年世代の転居意向が高く、子育て支援などの対応が必要となっています。
- 老後の生活を不安に挙げる声もあり、高齢者福祉や介護の対策が必要となっています。
- 自然の豊かさを誇りに持つ町民が非常に多く、災害の少なさを評価する人も多くいます。

まち・ひと・しごと総合戦略（H28.2）

【4つの基本目標】

- ①地方における安定した雇用を創出する
- ②地方への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

町の現況（主なもの）

【人口の推移】（宝達志水町人口ビジョンより）

- ・1985年（昭和60年）（17,306人）をピークに、2015年（平成27年）では13,174人、2040年には8,722人にまで減少することが想定されている。この結果を踏まえ今後、8,000人の人口維持を目標としています。

【工業】

- ・1995（平成7年）から2005年（平成17年）、2015年（平成27年）にかけて、製造品出荷額が67,653百万円→77,117百万円→112,105百万円と増加傾向です。

【商業】

- ・1993年（平成5年）から2013年（平成25年）にかけて、商業商品販売額が20,716百万円→15,070百万円と減少傾向です。

【観光】

- ・千里浜の観光入込客数が2009年（平成21年）から2016年（平成28年）にかけて635千→755千人に増加しています。

町の方向性（キーワード・方向性の例）

【アンケートや総合戦略等より想定されるキーワード・方向性】

- 自然、住環境⇒「自然」「山」「海」「水」「丘陵」「田園」
- 結婚、出産、子育て⇒「出会い」「はぐくみ」「交わり」「若者」
- 定住促進⇒「働きやすい」「住み続ける」
- 防災⇒「守る」
- 健康、福祉、教育⇒「いつまでも」「すこやか」「笑顔」
- 企業誘致、産業振興⇒「にぎわい」「いきおい」
- 住民参画、協働⇒「ひと」「みんな」「連携」「つながり」

【その他、社会情勢などから想定されるキーワード・方向性】

- 福祉、防災⇒「安全・安心」
- 環境、都市基盤⇒「快適」
- 農林水産業、商工業、観光、起業支援⇒「活力」
- 行財政、公共施設マネジメント⇒「行財政改革」「効率」
- 様々な課題の解決に取り組む⇒「次の時代」「希望」「未来」「あらたな」

町を取り巻く社会状況と課題（主なもの）

◆人口減少と少子高齢化への対応

- ・人口減少を見据えた、高齢者福祉や子育て支援などの充実と定住・交流人口の拡大

◆産業の活性化と雇用状況への対応

- ・地場産業の活性化や企業の立地により、就業の場の確保

◆安心・安全のまちづくり

- ・災害リスクへの不安視、地域による防災力や福祉力などの強化

◆豊かな自然環境の保全・活用

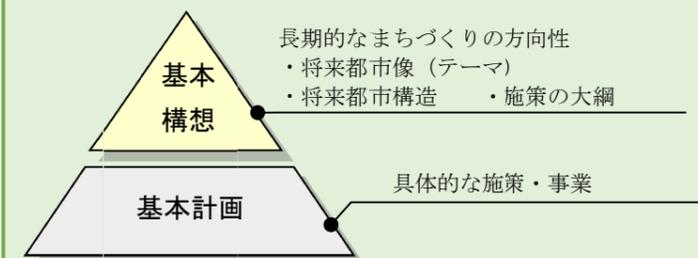
- ・豊かな自然や田園環境の保全、農林業等の振興、循環型社会の形成

◆ICT技術の進展

- ・近年発展が著しい情報技術の積極的な活用

将来像と総合計画での位置づけ

1) 第二次総合計画の構成



※町の発展と飛躍のため、計画的にまちづくりを推進していく指針となるものとし、20～30ページ程度でまとめ上げます。

2) 基本構想

①宝達志水町の将来像（テーマ）【第2回以降も継続議論】

- ・今後10年間の町の方針となるテーマと基本方針を設定します。

例えば・・・

将来像（テーマ）

『次の時代へ続く、いつまでも住み続けられるまち』

基本方針

- 「地域の資源を活かし磨くまちづくり」 ← 自然、安全な住環境
- 「パートナーシップで広がるまちづくり」 ← 参画、協働、効率化
- 「住み続ける活力あるまちづくり」 ← 定住促進、企業誘致、健康・福祉、教育、子育て

②主要指標の見直し【第2回以降に議論】

- ・人口ビジョンで設定した将来人口を踏まえ、今後10年間の町の総人口・世帯数・就業人口を設定します。

③将来都市構造【第2回以降に議論】

- ・町が目指す土地利用やネットワークの考え方を図示。
- ・第一次と比較し、都市構造を具体化し、地区の位置付けを整理します。

④施策の大綱（各施策の柱）【第2回以降に議論】

- ・分野別に取り組むべき方向性・内容を設定します。

3) 基本計画【次年度以降に議論】

- ・基本構想の施策の大綱に沿って、今後10年間における町が実施する具体的な施策を設定します。

6. 今後のスケジュール

	平成31年度							
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	
審議会		●	● ●	●	●	●	町長答申 議会説明・議決	
策定委員会		●	● ●	●	●	●		
検討部会		●	● ●	●	●	●		
検討内容		・アンケート結果報告 ・総合計画について ・これまでの取り組み ・まちづくりの方向性	・基本構想（案） 審議 ・将来都市像 ・施策の体系 ・将来都市構造 など	・基本計画（素案） 審議 ・現況、課題 ・各部門の施策の 方向性の検討 など	・基本計画（案） 審議 ・現況、課題 ・各部門の施策の 方向性の検討 など	・基本計画（最終案） 審議 ・現況、課題 ・各部門の施策の 方向性の検討 など		
基本構想	基本構想（案）の策定・とりまとめ			基本構想とりまとめ	（基本構想の内容に合わせて調整）			計画策定・公表
	町民意向の把握	将来都市構造 施策の体系						
基本計画				基本計画（案）の策定・とりまとめ	基本計画（案）の策定・とりまとめ			
					各部門の現況、課題	各部門の施策の方向性		
町民参画	町民アンケート HP、広報	HP、広報	● パブリックコメント HP、広報	● 町民ワークショップ	タウン ミーティング	● パブリックコメント HP、広報		

○宝達志水町総合計画審議会条例

平成17年3月1日

条例第25号

改正 平成21年8月10日条例第27号

平成26年3月24日条例第6号

(設置)

第1条 宝達志水町総合計画を策定するに当たり、必要な事項を調査審議するため、宝達志水町総合計画審議会
(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 審議会は、委員20人以内で組織する。

(会長)

第3条 会長は、委員の互選をもって充てる。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

(1) 町議会議員

(2) 知識経験を有する者

(3) 町内の公共的団体の代表者

2 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会議)

第5条 会長は、審議会を招集し、その議長となる。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 審議会が、特に必要と認めるときは、関係者の出席又は資料の提出を求めることができる。

(部会)

第6条 審議会は、専門的事項を調査審議させるため、部会を置くことができる。

2 部会の組織及び運営については、その都度会長が定める。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画振興課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この条例は、平成17年3月1日から施行する。

附 則（平成21年8月10日条例第27号）

この条例は、公布の日から施行し、平成21年7月1日から適用する。

附 則（平成26年3月24日条例第6号）抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○宝達志水町議会の議決すべき事件を定める条例

平成30年3月16日

条例第6号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67条）第96条第2項の規定に基づき、宝達志水町議会の議決すべき事件を定めるものとする。

(議決事件の指定)

第2条 議決すべき事件は、宝達志水町における総合的かつ計画的な行政の運営をはかるための基本構想の策定、変更又は廃止に関することとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。